

予算委員会

委員一覧（45名）

委員長	石井 一（民主）	小西 洋之（民主）	佐藤 ゆかり（自民）
理事	植松 恵美子（民主）	田中 直紀（民主）	末松 信介（自民）
理事	川上 義博（民主）	谷岡 郁子（民主）	塚田 一郎（自民）
理事	武内 則男（民主）	外山 齋（民主）	西田 昌司（自民）
理事	徳永 久志（民主）	友近 聡朗（民主）	丸山 和也（自民）
理事	有村 治子（自民）	西村 まさみ（民主）	三原じゅん子（自民）
理事	磯崎 陽輔（自民）	林 久美子（民主）	山田 俊男（自民）
理事	山本 一太（自民）	姫井 由美子（民主）	山谷 えり子（自民）
理事	浜田 昌良（公明）	広田 一（民主）	草川 昭三（公明）
理事	小野 次郎（みん）	牧山 ひろえ（民主）	竹谷 とし子（公明）
	石橋 通宏（民主）	赤石 清美（自民）	山本 博司（公明）
	江崎 孝（民主）	石井 浩郎（自民）	中西 健治（みん）
	大久保 勉（民主）	猪口 邦子（自民）	大門 実紀史（共産）
	大塚 耕平（民主）	片山 さつき（自民）	片山 虎之助（日改）
	金子 洋一（民主）	川口 順子（自民）	福島 みずほ（社民）

（23. 11. 2 現在）

（1）審議概観

第179回国会において、本委員会に付託された案件は、平成二十三年度第3次補正予算3案であった。平成二十三年度第3次補正予算3案はいずれも可決された。なお、本委員会に付託された請願はなかった。

〔予算の審査〕

平成二十三年度第3次補正予算 平成二十三年度補正予算3案（第3号、特第3号及び機第2号）は、10月28日国会に提出され、11月21日に成立した。

予算委員会では、11月2日、財務大臣から補正予算3案の趣旨説明を聴取し、衆議院からの送付の後、15日から質疑が行われ、21日、討論の後、可決された。

主な質疑の内容は以下のとおりである。まず、「野田内閣の国家目標は何か」との質疑があり、これに対し野田内閣総理大臣より、「当面の最大かつ最優先の課題は、東日本大震災からの復興と原発事故の収

束、そして経済の再生であり、これらの困難を乗り越えた後には、分厚い中間層をつくり、その中間層を支える持続可能な社会保障制度と税制の構築に取り組んでいきたい」旨の答弁があった。

次に、「先般開催されたAPEC首脳会議の成果は何か。APECにおいて、総理はTPPに関し、いかなる表明をしたのか」との質疑があり、これに対し、野田内閣総理大臣及び関係大臣より、「APECでは、アジア太平洋地域の経済統合を推進することについて各首脳が確認し合うことができた。TPPに関しては、交渉参加に向けて関係国との協議に入る方針を説明した。国益を最大限実現するとの視点で協議に臨んでいく所存であり、今後、農業を始め国民生活に与える影響について議論し、必要な対策を講じてまいりたい」旨の答弁があった。

また、「円高対策にどう取り組むのか。

中期財政フレームの実現可能性はどうか」との質疑があり、これに対し、野田内閣総理大臣及び関係大臣等より「円高に対しては、日銀による金融緩和措置のほか、政府としても過度の変動には為替介入を実施するとともに、中小企業金融支援や立地補助金の拡充など総合的な対策を打っているところである。中期財政フレームでは、大震災による財政支出等を分離した上で、基礎的財政収支対象経費、国債発行額を一定水準以下にとどめることとしており、来年度予算についても、歳入歳出両面において最大限努力し、財政規律の維持に努めてまいりたい」旨の答弁があった。

質疑はこのほか、復興増税の在り方、景気状況と消費税の関係、行財政改革の進め方、原発事故への対応、日本産食品等の輸入規制への対応、原子力政策の見直し、被災地の雇用確保策、二重債務問題対策、震災時の情報通信基盤の重要性、防災機能の強化、国内農業の再生に向けた支援策、日韓関係、米軍基地問題、人事院勧告と給与法、閣僚の任命責任、政治資金に関する諸問題、離島対策、住宅対策等の問題が取り上げられた。

〔国政調査〕

予算の執行状況に関する調査として、

以下のとおり、予算委員会が開かれた。

まず、11月11日には、環太平洋パートナーシップ協定等に関する集中審議が行われた。質疑では、TPP参加のメリットとデメリット、農林漁業及び医療・介護に対するセーフティネットの必要性、TPP交渉参加に関する考え方、例外措置の見通し、TPP等参加に関する影響試算、TPP協定における知的財産権及び投資紛争解決分野での問題点、ASEAN+6とTPPとの比較、通貨安定に関する取組、共済事業及び労働法制についての対応方針、社会保障制度及び労働市場改革の必要性、TPP参加による国内農畜産業への影響、TPPに関する情報開示の必要性等の問題が取り上げられた。

また、12月6日には、野田内閣の政治倫理を始めとする基本姿勢に関する集中審議が行われた。質疑では、閣僚の責務と任命責任、政治資金規制法改正への取組、外国人による政治献金問題、政治とカネをめぐる諸問題、永住外国人の地方参政権付与に関する方針、日米地位協定の見直し、普天間基地移設問題、公務員改革への取組、離島振興、観光振興、被災地でのカジノ解禁問題、原発輸出に関する方針等の問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○平成23年11月2日(水) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。
- 平成二十三年度一般会計補正予算(第3号) (予)
平成二十三年度特別会計補正予算(特第3号)

(予)

平成二十三年度政府関係機関補正予算(機第2号) (予)

以上3案について安住財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成23年11月11日(金) (第2回)

— 集中審議(環太平洋パートナーシップ協定

等) —

- 理事の補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、環太平洋パートナーシップ協定等に関する件について野田内閣総理大臣、鹿野農林水産大臣、古川国務大臣、安住財務大臣、一川防衛大臣、自見国務大臣、枝野経済産業大臣、小宮山厚生労働大臣、川端総務大臣及び山口外務副大臣に対し質疑を行った。

[質疑者]

広野ただし君(民主)、林芳正君(自民)、
※佐藤ゆかり君(自民)、西田実仁君(公明)、中西健治君(みんな)、紙智子君(共産)、
舛添要一君(日改)、福島みずほ君(社民)

※関連質疑

○平成23年11月15日(火)(第3回)

— 総括質疑 —

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十三年度一般会計補正予算(第3号)

(衆議院送付)

平成二十三年度特別会計補正予算(特第3号)

(衆議院送付)

平成二十三年度政府関係機関補正予算(機第2号)(衆議院送付)

以上3案について野田内閣総理大臣、鹿野農林水産大臣、安住財務大臣、山岡国務大臣、枝野国務大臣、蓮舫国務大臣、藤村内閣官房長官、玄葉外務大臣、細野環境大臣、前田国土交通大臣、平野国務大臣、中川文部科学大臣、小宮山国務大臣、古川国務大臣、一川防衛大臣、自見内閣府特命担当大臣、平岡法務大臣、筒井農林水産副大臣、奥田国土交通副大臣、政府参考人、参考人東京電力株式会社取締役社長西澤俊夫君及び日本銀行副総裁山口廣秀君に対し質疑を行った。

[質疑者]

山本一太君(自民)、※岩城光英君(自民)、
※宮沢洋一君(自民)、※森まさこ君(自民)、
※西田昌司君(自民)、川上義博君(民主)、
※中村哲治君(民主)、※相原久美子

君(民主)

※関連質疑

○平成23年11月16日(水)(第4回)

— 総括質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十三年度一般会計補正予算(第3号)

(衆議院送付)

平成二十三年度特別会計補正予算(特第3号)

(衆議院送付)

平成二十三年度政府関係機関補正予算(機第2号)(衆議院送付)

以上3案について野田内閣総理大臣、小宮山厚生労働大臣、川端総務大臣、枝野国務大臣、玄葉外務大臣、前田国土交通大臣、鹿野農林水産大臣、平野国務大臣、中川文部科学大臣、安住財務大臣、自見内閣府特命担当大臣、細野国務大臣、藤村内閣官房長官、一川防衛大臣、古川国務大臣及び参考人東京電力株式会社取締役社長西澤俊夫君に対し質疑を行った。

[質疑者]

※相原久美子君(民主)、※徳永久志君(民主)、
木庭健太郎君(公明)、※山本香苗君(公明)、
小野次郎君(みんな)、井上哲士君(共産)、
片山虎之助君(日改)、吉田忠智君(社民)

※関連質疑

○平成23年11月17日(木)(第5回)

— 一般質疑 —

- 平成二十三年度一般会計補正予算(第3号)

(衆議院送付)

平成二十三年度特別会計補正予算(特第3号)

(衆議院送付)

平成二十三年度政府関係機関補正予算(機第2号)(衆議院送付)

以上3案について川端総務大臣、古川国務大臣、藤村内閣官房長官、枝野経済産業大臣、玄葉外務大臣、鹿野農林水産大臣、安住財務大臣、一川防衛大臣、前田国土交通大臣、小宮山厚生労働大臣、中川文部科学大臣、細野国務大臣、平野内閣府特命担当大臣、渡辺防衛副大臣、神風防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

石橋通宏君（民主）、山田俊男君（自民）、
宇都隆史君（自民）、山本博司君（公明）、
※草川昭三君（公明）、中西健治君（みん）、
大門実紀史君（共産）、片山虎之助君（日
改）、福島みずほ君（社民） ※関連質疑

○平成23年11月21日（月）（第6回）

— 締めくくり質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十三年度一般会計補正予算（第3号）

（衆議院送付）

平成二十三年度特別会計補正予算（特第3号）

（衆議院送付）

平成二十三年度政府関係機関補正予算（機第
2号）（衆議院送付）

以上3案について野田内閣総理大臣、川端総
務大臣、蓮舫国務大臣、藤村内閣官房長官、
安住財務大臣、玄葉外務大臣、枝野国務大臣、
古川国務大臣、小宮山厚生労働大臣、鹿野農
林水産大臣、中川文部科学大臣、細野国務大
臣、一川防衛大臣、江利川人事院総裁及び参
考人東京電力株式会社取締役社長西澤俊夫君
に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決
した。

〔質疑者〕

武内則男君（民主）、磯崎陽輔君（自民）、
浜田昌良君（公明）、中西健治君（みん）、
田村智子君（共産）、荒井広幸君（日改）、
山内徳信君（社民）

（平成二十三年度第3次補正予算）

賛成会派 民主、自民、公明、みん、日改、
社民

反対会派 共産

○平成23年12月6日（火）（第7回）

— 集中審議（野田内閣の政治倫理を始めとす
る基本姿勢） —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、野田内
閣の政治倫理を始めとする基本姿勢に関する
件について野田内閣総理大臣、安住財務大臣、
蓮舫国務大臣、川端国務大臣、中川文部科学
大臣、山岡国務大臣、一川防衛大臣、前田国

士交通大臣、玄葉外務大臣、古川国務大臣、
松原国土交通副大臣、横光環境副大臣及び政
府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

牧山ひろえ君（民主）、西田昌司君（自民）、
※磯崎陽輔君（自民）、長沢広明君（公明）、
小野次郎君（みん）、大門実紀史君（共産）、
中山恭子君（日改）、山内徳信君（社民）

※関連質疑

○平成23年12月9日（金）（第8回）

- 予算の執行状況に関する調査の継続調査要求
書を提出することを決定した。